

環境科学調査センター

だより

Vol.46
2023.10

車から出る音を小さくする
道路って？

しらべる
えぬしーず

つたえる

環境科学調査センター公式YouTubeチャンネル
NCIESチャンネルのご案内

実験！体験！かんきょうラボ
参加募集のお知らせ

かんきょう実験スクールを
開催しました

つたえる

なごや環境大学 共有講座

実験！体験！かんきょうラボ

参加費 無料

私たちの生活を取り巻く身近な自然環境や環境問題について、当センターの研究者が科学的な視点・SDGsの観点から解説します。会話のネタになるような楽しい体験や観察を用意しておりますので、ぜひご参加ください！

令和5年 11月11日(土)

SDGs 9:30~12:00

生きものに做ら！
バイオミクリーの世界

生きものからヒントをもらって課題を解決する考え方、バイオミクリー。生きものの微細構造を電子顕微鏡などで観察し、その一端をご説明します。

令和5年 11月18日(土)

SDGs 9:30~12:00

海洋プラスチック問題
について学ぼう！

最近話題になっていいる海洋プラスチック問題への理解を深めるために、事前干渉で採取したサンプルでマイクロプラスチック調査を体験していただきます。

令和5年 11月18日(土)

SDGs 13:30~16:00

保冷剤をアップサイクル！
芳香剤を作ろう！

空のペットボトルなど、身近なものを活用して、余った保冷剤から良い香りの芳香剤を作りましょう。

講 座 内 容

会場 名古屋環境科学調査センター
対象 中学生を除く15歳以上の方 定員 各講座20名(抽選)
申込 ①講座名、②住所(区まで)、③氏名、④年代(20代、30代など)、⑤電話番号、⑥メールアドレスを添えて、【電話・FAX・メールまたは右の方法 二次元コード】からお申し込みください。
●発熱等体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
●いただいた個人情報は当センターからの案内や連絡のみに使用します。
●ご本人の許諾がない限り、上記の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。

こちらからお申込みできます！

申込メロ
10月20日(金)

かんきょう実験スクール
を開催しました

令和5年8月1~3日に、小学校4~6年生を対象とした実験講座を開催しました。コロナ禍前の規模に戻して開催した今年は、たくさんのご応募をいただき、延べ74名の方に実験を楽しんでいただきました。

開催報告動画は
こちら

8月1日(火) オリジナルスピードカーを作ろう！
8月2日(水) マイクロプラスチックってなに？ 集めて作ってキラキラアクセサリー★
8月3日(木) どれくらい見える？放射線を観察しよう！

編集・発行 |

名古屋環境科学調査センター

〒457-0841 名古屋南区豊田五丁目16番8号
TEL 052-692-8481 FAX 052-692-8483
(電子メール) a6928481@kankyokyo.city.nagoya.jp
(ホームページ) 名古屋公式ウェブサイト(www.city.nagoya.jp/)から

環境科学調査センター サイト内検索

当センターYouTubeチャンネルで動画公開中 >>

2023年10月

しらべる

車から出る音を小さくする道路って？

車から出る音を小さくするために

近年、地球温暖化防止などの環境意識の高まりとともに電気自動車を街中で見かけることが増えました。電気自動車は、走行中にCO₂（二酸化炭素）やNOx（窒素酸化物）といった排出ガスを出さない、環境にやさしい車です。

それでは、電気自動車の走行中の騒音についてはどうでしょうか。車から出る音は、主に車体から出るエンジン音と、路面とタイヤが触れて出るタイヤ音があります。電気自動車はエンジンではなく電気モーターで動く仕組みであり、電気モーターの音はエンジン音と比べて小さいという特徴があります。一方で、車体から出る音が小さくなってきたことにより、タイヤ音がより注目されるようになりました。

タイヤ音を小さくするためには、タイヤの改良と道路の改良が必要となりますが、今回は、道路の改良方法の1つである「低騒音舗装」について紹介します。

低騒音舗装の特徴とは？

タイヤ音の発生には、路面の舗装状態が大きく関係しており、路面の凹凸（図1）、路面の硬さ（図2）、舗装内の通気性の3つが影響します。



図1 路面の凹凸の図

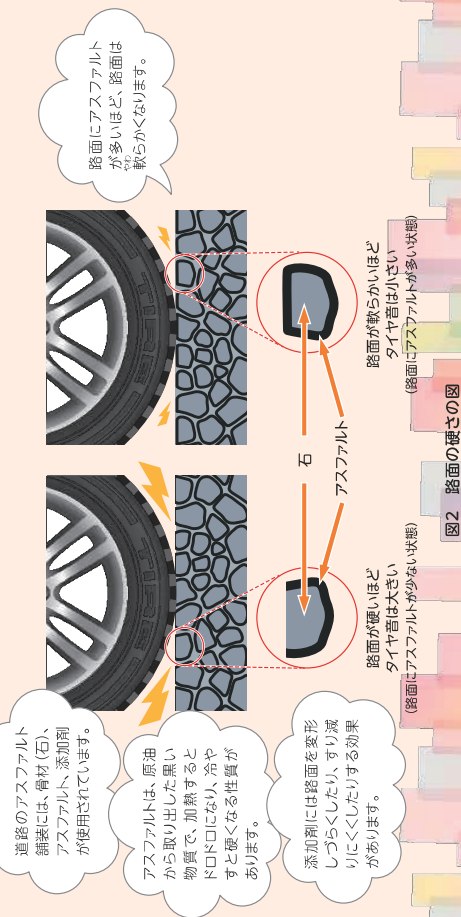


図2 路面の硬さの図

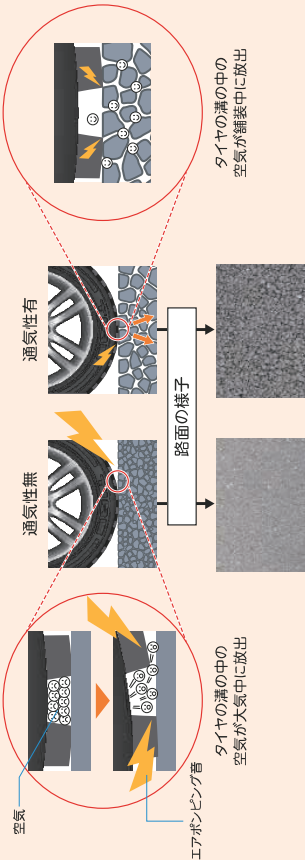


図3 通気性を持たない舗装（左図）と持つ舗装（右図）
通気性を持つ舗装が低騒音舗装

タイヤ音を小さくする効果を持续させるために

タイヤ音は大きくなると不快に感じる人が増えていきます。そのため、タイヤ音の発生に影響する要因の一つである舗装内の通気性を保ち続け、エアポンピング音が小さい状態を長持ちさせることが重要です。当センターでは、騒音測定・解析や舗装材料の分析など、舗装状態に着目した調査研究を進めていき、タイヤ音を小さくする効果を持续させる方法を探っています。

執筆者 環境科学室 宗宮伸弥

※山田 隆 (2020) : 騒音に定評ある「静かな舗装」の設計 - 116-124
・Daini Laido, and Paul Dorevici (2018) : Quieter Pavement - Acoustic Measurement and Performance, California Department of Transportation CTHWNP-RP-18-35,011
文庫 : 名古屋交通公社HP : 交通環境への対策 : <https://www.nagoya-expressway.co.jp/kosya/environment/endo.html>

つたえる 環境科学調査センター 公式YouTubeチャンネル

NCIESチャンネルのご案内



環境科学調査センターでは、日々の業務や調査研究発表会、かんきょう実験スクールの紹介など、いろいろな動画・ショート動画を配信しています！下に挙げた動画のほかにも、たくさん動画があるので、右の二次元コードから気になる動画をチェック＆チャンネル登録してくださいね！！

https://www.youtube.com/@nagoya_ncies

